

科目名 Course Name	保育実習Ⅱ Childcare Practice II			ナンバリング No.	K3-013		
年次	2年	期別	通年	単位数	2	授業形態	実験実習
担当者氏名	久保田 隆範						
連絡先(質問等)	本館2階研究室か、メールで対応する。						
必修/選択	選択(保育士養成課程履修学生は必修)						
関連 DP	DP1、DP2、DP3						
授業の概要と到達目標	<p>保育所において、児童福祉に関する知識や技術を基に保育計画を立案し、実際の保育に参加し、部分実習や責任実習を行う。その中で、家庭と地域の生活実態にも触れ、子どもの保育及び保護者支援について学び、実践力を養う。</p> <p>① 既に学習した保育や児童福祉に関する教科の知識や技術を基礎として、保育活動や保護者支援ができるようにする。 ② 子どもの発達と個人差や家庭環境の違い等にも目を向けた保育活動を目指すことができるようにする。 ③ 目的意識を持って保育活動を立案し、部分実習、責任実習ができるようにする。</p>						
授業の方法	保育実習の必要性と保育の実践方法を考えながら、保育所にて11日間(実習時間90時間以上)の実習を行う。実習施設によっては、土曜日・日曜日・祝祭日の実習、また行事や遠足などの園外保育にも参加する。保育活動の立案をし、部分実習または責任実習を1回以上実施する。						
学習成果	L01						
	L02	子どもの発達と個人差に目を向けた保育活動に取り組み、子どもの気持ちを考慮した保育をすることができる。					
	L03	保育所の機能と役割を考えながら子どもの保育及び保護者支援を実践することができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	巡回時に現場の様子や現場保育者からのヒアリングをもとにフィードバックをする。また、園からの実習評価用紙が戻り次第個別にフィードバックをする。						
教科書/参考図書	参考図書:佐野日本大学短期大学「保育実習の手引き」						
履修上の留意点やルール等	保育実習指導Ⅱの授業を必ず履修し、単位修得の成績を得ていること。保育士養成課程必修の科目において、不可の科目や欠時不認定の科目が多数ある場合は、面談の上、実習実施の可否を判断する。実習状況によっては、実習延期や中止も検討する。事前・事後学習時間の目安は各回180分相当とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	実習施設における評価基準により評価されたに5段階評価に基づく。2、1の評価は不可に値する。(5:優れている、4:やや優れている、3:普通、2:やや努力を要する、1:努力を要する)			80	
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験					
その他	実習日誌の内容確認(空欄の有無、訂正・修正箇所の対応など)。学内における提出日を設け、提出期限を厳守していること。		20		
合計			20	80	

回数		授業計画
1	授業内容	1. 保育所の役割や機能の具体的展開
	事前・事後学習	保育所の役割と機能について、調べてまとめる。事後には実際の観察からの考察をまとめる。
2	授業内容	(1)養護と教育が一体となつて行われる保育
	事前・事後学習	再度、養護と教育の言葉の定義について調べまとめる。実践の中での養護と教育部分を整理してまとめる。
3	授業内容	(2)保育所の社会的役割と責任
	事前・事後学習	保育所が地域において持つ責任について調べてまとめる。実際の観察や保育者へのヒアリングを通して得た学びをまとめる。
4	授業内容	2.観察及び参加に基づく保育理解
	事前・事後学習	保育実践における観察の基本的姿勢や注意事項について調べまとめる。実践後、自身の振る舞いはどうであったかを振り返りまとめる。
5	授業内容	(1)子どもの心身の状態や活動の理解
	事前・事後学習	実践を通して、発達段階による心身の状況や活動内容の違いをまとめる。
6	授業内容	(2)保育士等の動きや実践の理解
	事前・事後学習	実践を通して、保育者の動き方や活動中の配慮点、思いなどを考察しまとめる。
7	授業内容	(3)保育所の生活の流れや展開の把握
	事前・事後学習	実践を通して、各年齢による生活リズムの違いや活動内容の展開方法を学び、記録をまとめる。
8	授業内容	3.子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会との連携
	事前・事後学習	保育者と保護者との関わりから支援方法や関わり方を学び、まとめる。
9	授業内容	(1)環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育の理解
	事前・事後学習	環境を通して行う保育とは何かを調べまとめる。実践を通して、環境的配慮として行われている事項をまとめる。
10	授業内容	(2)入所している子どもの保護者支援及び地域の子育て家庭への支援
	事前・事後学習	子育て支援センターや一時預かりの機能について調べまとめる。実践を通して、子育て支援の必要性や実際のニーズについて考察し、まとめる。
11	授業内容	(3)地域社会との連携
	事前・事後学習	地域と連携した活動や行事の実際を知り、まとめる。
12	授業内容	4.指導計画の作成、実践、観察、記録、評価
	事前・事後学習	子ども達の実際の姿と現状に即した指導計画を立案する。
13	授業内容	(1)保育課程に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価
	事前・事後学習	実践を踏まえての振り返りを行い、良かった点と改善点を整理しまとめる。
14	授業内容	5.保育士の業務と職業倫理
	事前・事後学習	多岐にわたる保育者業務を把握し、現場運営や子どもの育ちにどのような意味を持っているかをまとめる。
15	授業内容	6.自己の課題の明確化
	事前・事後学習	これまでの実践を踏まえて、自己分析を行い自身の強みや弱みを整理する。